

## 「大綱後」への提案

これからの課題は、自殺総合対策の理念を  
いかに全国(地域)に根付かせていくかということ。

大綱を威勢の良い掛け声だけに  
終わらせないために、  
大綱の中身をどう具現化していくのか、  
その仕掛けこそが極めて重要である。

大綱後は、  
官民合同「自殺総合対策推進チーム」を  
立ち上げて、  
例えば「自死遺族支援全国キャラバン」のような  
プロジェクトを展開させていったらどうか。

日本の自殺対策に必要なのは、  
自殺対策を責任持って推進する「つなぎ役」と  
具体的かつ実践的なプロジェクトである。

「自死遺族支援全国キャラバン」については次頁へ

# 「自死遺族支援全国キャラバン」 プロジェクト企画書

## 【「自死遺族支援全国キャラバン」とは】

自殺対策基本法の柱でありながら著しく立ち遅れている自死遺族支援をテーマにしたシンポジウムを、47すべての都道府県で開催して回る大規模プロジェクト。自殺総合対策という新しい枠組みの下、基本法が理念として掲げる「生き心地の良い社会」を目指して、官民合同で取り組むための礎を築きたい。(期間は原則一年。2007年4月から2008年3月まで。ただし、必要に応じて延長する可能性あり。)

### 【4つの目的】

自殺総合対策の理念を全国(それぞれの地域)に根付かせること  
全47都道府県で「自死遺族のつどい」設立のきっかけを作ること  
「1000人の声なき声に耳を傾ける」との連動により自殺実態を解明すること  
官民学の枠を超えた自殺対策関係者の連携基盤を各地域で構築すること

## 【様々なサブプロジェクト】(詳細は別紙参照)

「自死遺族支援全国キャラバン(以下「全国キャラバン」)では、シンポジウムの開催をメインプロジェクトに据えつつ、様々なサブプロジェクトを同時展開させる。総合対策の枠組みを存分に活用して、あらゆる立場の人たちが、それぞれの得意分野を活かす形でプロジェクトに参画できるようにする。

現在のところ、「自殺死者のメッセージ展」と「分かち合い」の同日開催、自死遺族支援24時間ダイヤルの開設(通年)、自殺死者の合同追悼法要、自殺死の実態調査 対策提言、多重債務相続問題の無料相談、自殺総合対策大綱の普及啓発などを、サブプロジェクトとして実施の予定。

## 【プロジェクトチームの役割など】

「全国キャラバン」の推進役として、各分野の専門家からなる「官民合同プロジェクトチーム」を立ち上げる。プロジェクトチームが中心となって、シンポジウムやサブプロジェクトの企画・立案・調整、実態調査を行い、全国の都道府県や各地域の民間団体(主に「3万人署名」の協力団体)と連携をして、一年間掛けてプロジェクトを推し進めていく。

プロジェクトチームは、各都道府県に地域の民間団体と連携しながらシンポジウムの主催者となるよう働きかけ、ソフト提供や広報面等からシンポジウムを支援する。プロジェクトチームの事務局はライフリンクが務める。

## 【その他、特記事項】

マスコミとも積極的に協働を図り、実務的な活動は常に啓発につなげていくようにすること  
自死遺族と連携を図りながら自殺実態を解明し、有効策の立案にまでつなげていくこと  
自殺対策への決意を語ってもらうため、シンポには地域行政のトップである知事の出席を求めること  
シンポは地域対策の最初の一步;シンポ後の対策推進・関係者の連携を見据えて準備にあたること  
国、自治体、民間団体、法律家、医療者、宗教家、企業、財団等が連携・参画できるようにすること

【年間スケジュール(予定)】

|    |  |     |                                    |
|----|--|-----|------------------------------------|
| 4月 | ・プロジェクトチーム発足<br>・各自治体との交渉・調整                     | 10月 | ・7カ所で開催                            |
|    |  | 11月 | ・7カ所で開催                            |
| 5月 | ・各自治体との交渉・調整                                     | 12月 | ・5カ所で開催<br>・自殺死者の合同追悼法要<br>(いのちの日) |
| 6月 | ・自殺総合対策大綱発表(啓発)<br>・第一回シンポ(候補地と交渉中)<br>・他2カ所でも開催 | 1月  | ・5カ所で開催                            |
|    |  | 2月  | ・5カ所で開催                            |
|    |  | 3月  | ・実態調査の結果報告<br>対策提言へ                |
| 7月 | ・4カ所で開催  |     |                                    |
| 8月 | ・4カ所で開催  |     |                                    |
| 9月 | ・世界自殺予防デー・フォーラムにて<br>「実態調査」の中間報告<br>・7カ所で開催      |     |                                    |

【主なサブプロジェクトの概要】(日付は予定)

- 「自殺死者のメッセージ展」と「分かち合い」の同日開催
  - ・シンポジウム会場ロビーにて「自殺死者のメッセージ展」を開催
  - ・シンポジウムで遺族に参加を呼びかけて、シンポ翌日に「分かち合い」を行う
- 自死遺族支援 24時間ダイヤルの開設(通年)
  - ・「全国キャラバン」の期間中、他の相談機関と連携しながら自死遺族向け電話相談を行う
- 自殺死者の合同追悼法要(12月1日)
  - ・僧侶やお寺と連携をして、自殺で亡くなった方々の死を悼む合同法要を行う
- 自殺死の実態調査 対策提言(2008年3月)
  - ・「自死遺族のつどい」と連携したり、メディアを通して全国の遺族に呼びかけるなどして、効果的な対策立案のための実態調査を行う 対策への提言も行う
- 多重債務相続問題の無料相談(通年)
  - ・多重債務で家族を亡くした遺族は、借金を相続しながら誰にも相談できず孤立してしまうことが多い 自殺予防と遺族支援の両方の観点から法律家と連携して無料相談を行う
- 自殺総合対策大綱の普及啓発(通年)
  - ・「全国キャラバン」と絡めて、メディアを通じて積極的に啓発を行っていく

【主な連携先機関・団体】

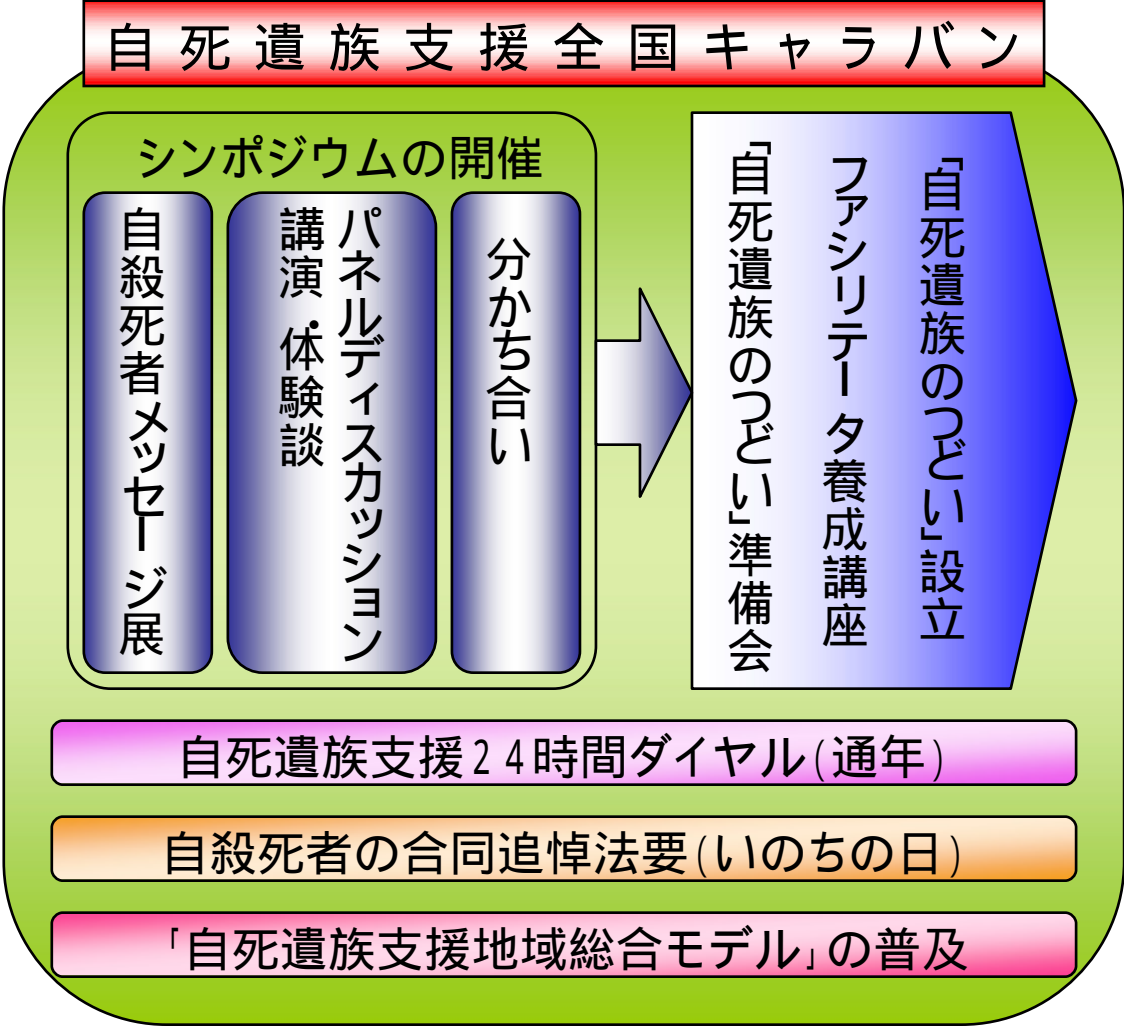
官民学の枠を超えた様々な機関・団体、専門家と交渉中

以上

# 官民合同プロジェクトチーム

自治体

地域の民間団体など



+



自死遺族のつどい

法律家・医療者など

